

ふくじゅそう

2016
7
No.35

病院の理念

地域とともに世界を視野に
信頼される最善の医療を

基本方針

- 1.質の高い安全な医療
- 2.救急医療
- 3.国内外の医療救援活動
- 4.地域連携
- 5.教育・研修・研鑽
- 6.患者・職員満足度の向上



福岡赤十字病院

日本赤十字社

平成28年熊本地震

～いち早く被災地へ駆けつけ、医療活動を展開～

熊本地震発生直後、約1時間半後には当院の医療救護班第1班が熊本に向けて出動しました。以降、全国の赤十字施設と連携をとりながら、第6班まで派遣し、避難所などで診療活動を行いました。他にも、多数の被災者を受け入れていた熊本赤十字病院への人的支援やこころのケア活動など、被災地のニーズに合わせた活動を行って参りました。

赤十字の使命を胸に、いかなる時にもいち早く駆けつけて被災者の力になれるよう、今後とも最善の備えを行って参ります。



医療救護班による巡回診療



被災地の最前線となった熊本赤十字病院へ医師・看護師を派遣。
救急外来で診療する当院の外科医師。



4/14発災から約1時間半後、救護班第1班が出動

熊本赤十字病院へ当院の患者用非常食を緊急配達

平成28年熊本地震における 当院の主な活動

- ◎医療救護班派遣 第1班～第6班 41名
- ◎熊本赤十字病院支援員の派遣 9名
- ◎こころのケア要員の派遣 2名
- ◎熊本赤十字病院へ患者用非常食配達 2回

就任のご挨拶

このたび、4月1日付けで副院長を拝命しました。昭和58年九州大学第2内科に入局し、研修医を終えてからは一貫して消化器疾患の診療に従事とともに、診療を通じて多くのことを学んできました。当院での勤務は平成4年以来ですので、24年ぶりになりますが、この間に福岡市内の2つの大学病院（九州大学病院と福岡大学病院）で消化器内科医として臨床、研究、教育に従事し、様々な経験を積みました。消化器内科としては、消化管（食道、胃、腸）のX線・内視鏡診断および内科的治療（薬物、内視鏡）を中心に診療を行っています。近年増加している原因不明で難病の炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクロhn病など）に対して、専門性をもって的確な診断と最適な治療を実践してきました。若年者だけではなく高齢者まで男女問わず幅広い世代に発症するため、病態を的確に評価して、新たに登場した内科的治療法を個人個人に応じて組み合わせることにより、病状をコントロールし生活の質を高めることを目指しています。さらに、早期癌を中心とした腫瘍性疾患に対しては、拡大内視鏡を用いた精緻な診断を行い、低侵襲な内視鏡的治療を行っています。これまでの経験を基に、当院においても地域との連携を密接に行い、安全で質の高い医療を提供したいと考えています。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。



副院長
青柳 邦彦

本年度4月より赴任しました呼吸器内科の河口と申します。当院には2015年3月まで勤務し、JCHO九州病院で1年間勤務した後今回再び赴任致しました。当科では昨年局所麻酔下胸腔鏡検査を新たに導入し、原因不明の胸水の診断など胸腔鏡を用いて行っております。また肺癌の診療においては従来の抗癌剤治療に加え、新たな肺癌治療薬として免疫チェックポイント阻害薬(Nivolumab)が昨年12月に承認され当科でも適応患者さんへの治療を開始しております。その他、間質性肺炎などの難治性疾患、喘息・肺炎などの救急疾患、重症肺炎・ARDSなどの重症呼吸不全を伴う症例もこれまでと同様に積極的に受け入れて行きたいと考えております。当科の入院患者数は周囲の医療機関のご協力もあり年々増加しております。昨年度よりスタッフは4人に増員となり、これまで以上に質の高い医療を提供出来るよう頑張って参りたいと思いますので今後とも宜しくお願ひいたします。



呼吸器内科部長
河口 知允

はじめまして。4月1日より福岡赤十字病院脳血管内科へ赴任致しました北山と申します。3月までは国立病院機構福岡東医療センター脳神経内科で勤務しておりました。脳血管障害の治療は時間との勝負です。当科では超急性期の脳梗塞に対する血栓溶解療法やカテーテルを用いた血管内治療の実績を既に多数積んでいますが、今年度からはより充実した体制で対応すべく、脳神経血管内治療専門医が2名に増員となりました。また、今後は脳血管障害以外の神経疾患にも幅広く対応していくたいと思っています。明らかな麻痺や言葉の障害だけでなく、「何となく身体がおかしい、いつもと違う」との訴えや身体所見を逃さないことも診断のきっかけとなります。超急性期から慢性期まで脳神経疾患が疑われる方がおられましたらいつでもお気軽にご相談下さい。これからどうぞよろしくお願ひ致します。



脳血管内科部長
北山 次郎

平成28年4月1日付けで肝臓内科部長として赴任しました早田です。出身は長崎県大村市で、福岡大学の卒業です。研修医、大学院、市中病院勤務、ニュージーランド留学の後、福岡大学病院消化器内科、肝臓研究室主任として、肝臓病全般

に関する臨床と研究に長く携わってきました。福岡赤十字病院の肝臓内科は現在4人体制でやっていますが、関連する他科の先生たちと協力し合って、小回りが効く診療体制を作り、地域医療に貢献したいと思っています。肝臓病の中ではC型肝炎治療の進歩が目まぐるしく、インターフェロンを使わない経口剤のみの治療が次々出てきています。このような新しい治療についての情報発信もしていきたいと思います。

どうかよろしくお願ひ致します。



肝臓内科部長
早田 哲郎

皆さん、こんにちは。平成28

年4月より新たに眼科に赴任しました大石誠一郎と申します。

昨年は済生会飯塚嘉穂病院に勤務しておりました。医局は九州大学眼科に所属しており、専門は網膜硝子体、緑内障、眼科一般です。現在2名体制で眼科

疾患全般にわたり診療を行っております。手術は白内障を中心に、糖尿病網膜症などの網膜硝子体手術や緑内障手術を入院管理下で行っています。入院中は内科などの他科との連携をはかり、全身合併症のある方も安心して治療を受けて頂けるよう心掛けています。

今後も開業医の先生方と密に連絡をとりあいながら、少しでも地域に貢献できるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願ひ致します。

眼科副部長
大石 誠一郎



6月から、無菌室を3床増床しました

血液腫瘍内科 部長 谷本 一樹

いつも大変お世話になっております。日頃より多くの患者さんのご紹介誠にありがとうございます。

当科では血液悪性疾患の抗癌剤による薬物療法を積極的に行っております。抗癌剤治療には、骨髄抑制による造血不全が必発します。そのため、抵抗力低下をきたし、易感染状態になり、一度感染症を起こすと重症化します。このため感染症の発症の予防を行うことが大変重要です。

当院では上記のような治療を安全に行うための無菌室があり、3床稼働していました。本年6月からは3床増床し、合計6床での運用を開始しました。

増床により自己末梢血幹細胞移植療法や白血病などの強力な化学療法を、今まで以上に多くの患者さんに安全に行えるようになりました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

地域医療連携室

～地域とともに、地域につながる～
医療連携を

地域医療支援病院としてその役割を担って、今年で5年目になります。当院は地域の先生方と密に連携し、患者さんに対して安全面も含め、質の高い医療を提供すべく、連携室が一丸となりその使命を果たしたいと考えております。



地域医療連携室 室長
目野 宏



平成28年度は「受け入れの良さ」を目標に、医療連携をさらに充実していきたいと考えています。また、地域の先生方に当院の情報を積極的に提供しながら、地域の医療機関との信頼関係をこれまで以上に深めていく所存です。

医療連携課長 福嶋 善朗

地域医療連携室では、地域の医療機関からの窓口として紹介患者さんの受入調整から受診後の結果報告・治療結果等、紹介先様への情報提供も密に行っております。地域医療支援病院として、かかりつけ医の先生方と密接な関係を築き、とぎれのない前方・後方医療連携を行います。

入退院支援課 看護副部長 松山 麻須美

認知症看護認定看護師を配置しました

身体疾患で入院となった認知症のある方が安心して治療を受け、疾患から生じる困難をできる限り緩和し、住み慣れた生活の場に戻ることを目的として、6月から地域医療連携室入退院支援課に認知症看護認定看護師(看護係長:宮原)を配置しました。同時に、医師・看護師・MSW等で「認知症ケアチーム」を立ち上げ、多職種協働で院内の認知症ケアの質向上に取り組んでいます。認知症があってもその人らしい生活が送られるよう、関連機関の皆様と連携をとっていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

放射線治療装置(リニアック)のご利用について ～予約方法のご案内～

医師に相談がある場合・ 入院の必要がある場合

代表電話(092-521-1211)から、放射線科部長・盧へお電話ください。相談・予約をお受けします。

予約のみの場合

連携室直通フリーダイヤル(0120-521-993)へお電話ください。

予約日時決定後、診療情報提供書を連携室へFAX(0120-521-992)



ご利用をお待ちしております

お知らせ

アネックス棟1階改修工事について

アネックス棟1階の改修工事につきまして、おかげさまで、7月1日に新しいコンビニエンスストアがオープンしました。

今後は、ご面会やお食事などの際に自由にゆったりと過ごしていただけるラウンジスペースを順次提供する予定です。すべての工事完了は8月31日を予定しております。今しばらくの間ご不便をおかけいたしますが、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



地域とともに! 登録医紹介

当院では、患者様に信頼される最善の医療を地域医療機関とともに進めていくことを理念に掲げています。そのための心強いパートナーである登録医の先生方をご紹介します。

四つ葉会 おやま内科クリニック

先生に
インタビュー

当院との地域連携について どのようにお考えですか?

当院に通院している多数の患者様の診療をしていただき、感謝しております。赤十字病院には、全分野の専門医がそろっており、先端医療を提供してもらえるため、地域の皆さまを安心して紹介しています。赤十字病院を紹介した患者様の多くは、専門医からの説明を受け、納得して帰ってきます。私も患者様の様子とお返事の内容をみて、いつも満足しています。

赤十字病院に通院している地域の患者様で、取り急ぎ往診が必要な場合や、自宅で点滴の継続が必要な患者様にも可能な限り迅速に対応しますので、その際は、ご連絡をお願いいたします。

病院のアピールポイントを教えてください。

救急医療から終末期医療まで、幅広い分野で表彰いただいた経験を生かし、患者様とご家族にとって、最善の医療を提供できるように努めています。赤十字病院まで通院できなくなってきた患者様にも、外来診療、訪問診療を通じて、同じ水準の医療を提供できるよう心掛けています。

訪問診療で大切にしていることは?

「自宅で過ごしたい」という患者様が選んだ生き方を支えていきたいと思っています。また、患者様のご家族は、介護の負担や病状に対する不安などを抱えて、大変な思いをされている方が多いので、その方自身の人生も大切にしていただけるよう、さまざまな角度から出来る限りのアドバイスをするようにしています。

対象疾患: 内科・呼吸器内科・アレルギー科
消化器内科・心療内科
得意分野: ぜんそくなどのアレルギー疾患

地域の皆様へメッセージをお願いします。

患者様とご家族が安心して幸せな日々を過ごせるように、通院が困難になった患者様には訪問診療を行っており、機関病院と連携して自宅で先進医療を継続できるよう努めています。専門医の診療を希望する患者様には、迅速に適切な病院へ紹介しますので、遠慮なくご相談ください。また、生活習慣病の予防、悪性腫瘍の早期診断、狭心症、脳卒中などの早期治療ができるよう努めています。



小山院長



基本情報

- ◎院長: 小山直己
- ◎住所: 福岡県福岡市南区鶴田2-22-12
- ◎TEL: 092-566-7272
- ◎診療科目: 内科・呼吸器科・消化器科・アレルギー科・心療内科
- ◎診療時間: 午前: 月~土 / 9:00~12:30
午後: 月・火・木・金 / 14:00~18:00
- ◎休診日: 日・祝

特徴

赤十字病院をはじめとする中核病院と連携し、先進医療を継続しながら、全人的医療を行っています。

